

未来へつなごう！堺チン電の会

2003年設立 会員数 233人(2024年1月現在)
会費 2年間で1,000円 代表者 福井隆一郎

1911年12月に恵美須町(大阪市)～大小路(堺市)間が、翌年4月には浜寺駅前までが開通して以来走り続けている阪堺線は、堺市民の身近な移動手段であり、堺の貴重な資産。堺市内区間が廃線の危機にあった2003年12月市民や沿線企業の方たちが立ち上がり『堺のチンチン電車を愛する会』を設立、「乗って残そう阪堺線」を合言葉に、阪堺線のPRや利用を増やすための様々な活動を展開。2010年10月に堺市と阪堺電気軌道(株)が基本合意書を締結し、堺市内区間の存続が明確なり、目的を「阪堺線の存続」から「未来に受け継いでいくこと」とし『未来へつなごう！堺チン電の会』に変更。事務局を堺市に移行し、それまでの活動に加え市民・事業者・行政が連携する取り組みを進めている。

【近年の主な活動】 <https://www.facebook.com/sakaichinde> 浜寺ローズカーニバル出店→

- ・堺ちん電フェスティバルの開催(RACDA 大阪・堺と共催 11月頃 ザビエル公園(堺市))
- ・浜寺ローズカーニバルへの参加(5月頃 浜寺公園(堺市・高石市))
- ・路面電車まつりへの参加(6月頃 阪堺電気軌道(株)我孫子道車庫)
- ・堺トラム車内での絵画(10月頃)や写真(12月頃)の展示
- ・facebookによるチン電会や阪堺線関連情報の発信(随時)
- ・会報発行(10月頃)等



【ロゴマーク】 阪堺電車に、堺とチンチン電車の頭文字のSとCを組合せ皆様に親しまれ愛されるよう、明るく楽しいデザインとした

堺トラム車内小学生絵画展示→

万葉線を愛する会

1993年10月設立 会員：約1000名
会費：一般会員 1,000円

万葉線を愛する会では、市民から会員を募集し、入会者には、会員証の他、会員オリジナルの万葉線セット回数券(770円分セット)と年1回の会報が郵送されます。万葉線を利用したイベントの開催や、沿線の企業・店舗に会員特典などの協力をいただいて、利用促進を図っています。

【活動概要】

- 季刊「万葉線だより」発行、第37回日本海高岡なべ祭り等イベント時の運賃を半額助成
- 3/1～4/30 万葉線定期券・回数券購入キャンペーン(抽選で高岡・射水の特産品)
- 3/18 国際交流電車～カナダ編 文化紹介
- 3/25・26、4/1・2 春のおでかけ万葉線100円DAY(1乗車100円)
- 8/5 万葉線納涼まつり～ワクワクのりもの体験～(写真上)
- 11/14 高岡・射水ケーブルネットワーク新デザイン電車の出発式(写真下)

